

H25.2.11(月)中国新聞

数日前に入院した父を主人と見舞い、実家の母を訪ねた。病院は、広島県北部にあり、実家は、その山間部にある。わが家の車はノーマルタイヤ。少々不安なスタートとなつた。

山道を避けて走り、無事到着。見舞うことができた。

父は、私たち娘夫婦がすぐに分かつたようだ。そつと手を上げ、笑顔で応じてくれた。

話していると、父にどうしては母の存在が誰よりも大きいことが、よく分かつた。

見舞いを終え、母が待つ実家へと向かつた。運よく道路沿いの雪は、ほとんど運転を妨げることはなかつた。

ホツとして実家の前で車を

止め、降りた。凍りついて板のようになった雪を何回も何回も除いた跡があつた。

娘夫婦が無事に来られるようになると、腰の曲がった89歳になる母が、一生懸命に取り除いてくれたのだ。

母のもてなし

家に入り、囮んだことには、母手作りの熱々の焼きいもが菓子に添えられていた。父のことやお互いの近況を話すこと数時間。ホッコリした気持ちになつた。

いつまでも浸つていたくなるような時間だつたが、重い腰を上げ、実家を後に。車の中から振り返ると、母が曲がった腰を精いっぱい伸ばして手を振つてくれていた。

母からもらつたいいっぱいのもてなしに感謝した一日だつた。

二
だ
ま

呉市 非常勤講師
信谷 美智子 58歳